

ホームエネルギー会社（岩谷産業グループ）が担うラストマイルの現場

全国・山間地域に広がるLPガス配送の実態と課題

全国2,300万世帯に供給されるLPガスの中で、
当社物流会社であるホームエネルギー会社による**定期訪問型**のLPガス配送をご紹介します、さらに**山間地域・過疎地域**における**配送課題**について説明いたします。



目次

- 01 LPガス配送の特徴
- 02 岩谷産業グループ・ホームエネルギー会社の紹介
- 03 LPガ斯拉ストマイル配送の構造的課題
- 04 今後に向けて

LPガスのサプライチェーン～調達からお客様への配送までの流れ～

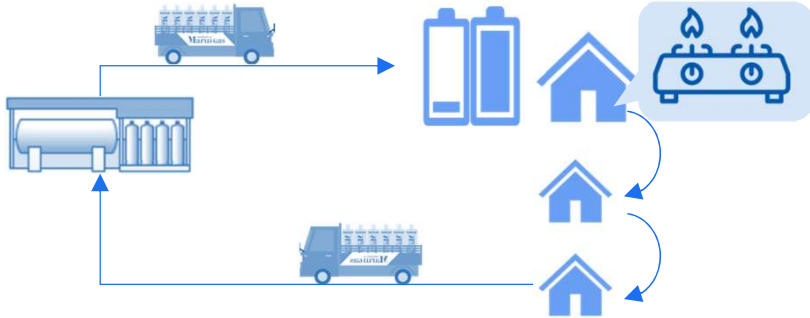
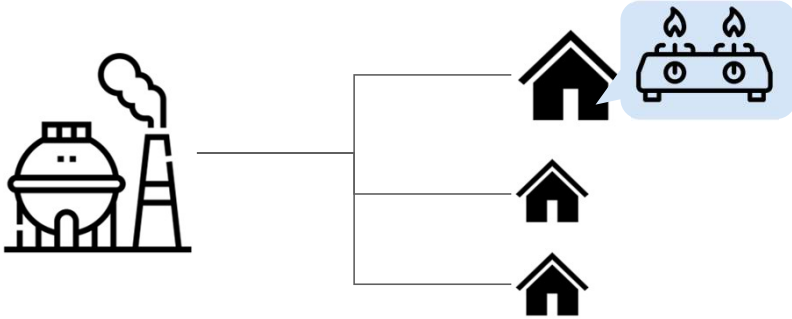
海外から輸入されたLPガスは、輸入基地からLPGセンターへローリーで運ばれ、容器に充填された後、お客様先へ配送されます。

お客様へのLPガス容器(シリンダー)供給の流れ



LPガスと都市ガスとの違い

プロパンガス（LPガス）と都市ガスは、ともに家庭用エネルギーですが、**基地・センターからお客様へ届ける供給形態が異なります。**

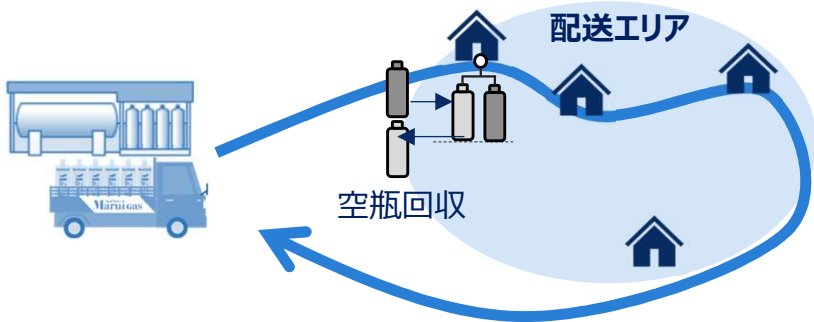
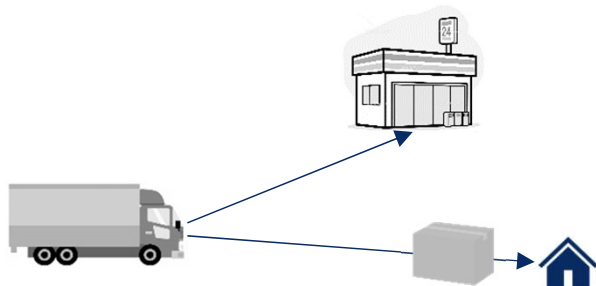
	LPガス	都市ガス
主成分	プロパン・C ₃ H ₈	メタン・CH ₄
保存状態	液体	気体
供給世帯数	約 2,300 万世帯 ※1	約 2,850 万件 ※2
供給形態	容器に充填して配送し、各家庭に設置 分散型供給 	地中の配管を通じて直接供給 系統供給 
対応エリア	全国可（山間地域・離島を含む）	都市部中心・エリア限定

※1 （社）エルピーガス振興センター HP(<https://www.lpgc.or.jp/aboutlpg/index.html>)

※2 資源エネルギー庁HP (https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/gas/ga001/2025/2025_05.html)

LPガスと一般的な宅配との違い

一般的な宅配とは異なり、**供給者（配送会社）がお客様の訪問スケジュールを管理し、配送日程を判断する定期訪問型のラストマイル配送**です。

	LPガス容器の配送	一般的な配送（宅配便）
配送目的	お客様のガスを切らさないこと （エネルギーの安定供給）	指定された日時・場所への確実な配送
配送先	残量が少ないお客様を中心に 自ら配送エリアを決めて配送	顧客の注文・スケジュールに基づき、 その都度配送先を決定
配送スタイル	- 供給側が行き先（エリア）・スケジュールを 決定する定期訪問型の配送 - 再配達は原則なし	- 顧客ニーズに応じた個別配送 - 不在時には再配達
イメージ	 The diagram illustrates the LP gas delivery cycle. A blue truck labeled 'Maru Gas' is shown on the left. A blue arrow points from the truck to a '配送エリア' (Delivery Area) which contains several houses. Inside the area, there are gas cylinders and a label '空瓶回収' (Empty bottle collection). A blue arrow points from the delivery area back to the truck, completing the cycle.	 The diagram illustrates general parcel delivery. A grey truck is shown on the left. A blue arrow points from the truck to a building (storefront). Another blue arrow points from the building to a box, and a final blue arrow points from the box to a house, representing the delivery path.

繁閑における配送量の差

LPガスの配送は**冬季の暖房需要などの気温により使用量が大きく異なるため、季節による繁閑差が非常に大きい**という特徴があります。

LPガス配送員のスケジュール（例）

閑散期の配送

- **8:00 | 出勤・出発準備**
 - ・ 容器積込、運行前点検
 - ・ 点呼
 - ・ 出発（1車目）
- **13:00 | 帰社**
 - ・ 翌日の計画
- **14:30 | 退勤**

繁忙期の配送

- **8:00 | 出勤・出発準備（7時出勤も）**
 - ・ 容器積込、運行前点検
 - ・ 点呼
 - ・ 出発（1車目）
- **12:00 | 帰社**
- **13:00 | 配送（2回目）**
- **16:00 | 帰社**
 - ・ 翌日の計画
- **17:00 | 退勤**

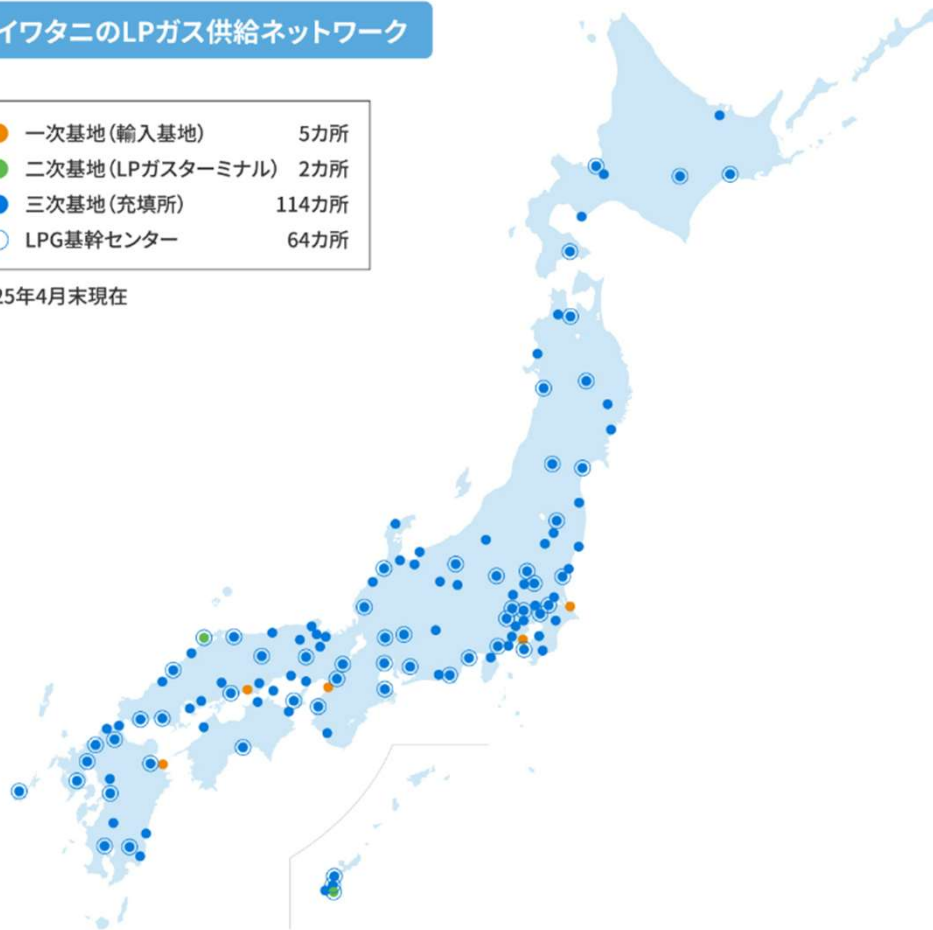
12～2月の配送量は夏場の1.5～2倍に達することもあり、その時期には配送員の稼働・残業対応など、業務負荷が急激に高まります。

全国2,300万世帯が利用するLPガスのうち、当社は約330万世帯に供給し、
114拠点・約1,000名の配送員がシリンダー配送配送を担っています。

イワタニのLPガス供給ネットワーク

- 一次基地(輸入基地) 5カ所
- 二次基地(LPガスターミナル) 2カ所
- 三次基地(充填所) 114カ所
- LPG基幹センター 64カ所

2025年4月末現在



会社名

主な配送エリア

ホームエネルギー北海道	北海道
ホームエネルギー東北	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
ホームエネルギー関東	埼玉・群馬・栃木・新潟・茨城・千葉
ホームエネルギー西関東	東京・神奈川・山梨・静岡・長野
ホームエネルギー東海	愛知・岐阜・三重
ホームエネルギー北陸	福井・石川・富山
ホームエネルギー近畿	大阪・兵庫・京都・奈良・和歌山
ホームエネルギー四国	香川・徳島・愛媛・高知
ホームエネルギー山陽	広島・岡山・山口
ホームエネルギー山陰	島根・鳥取
ホームエネルギー九州	福岡・佐賀・長崎・大分
ホームエネルギー南九州	熊本・宮崎・鹿児島
マルエ産業株式会社	沖縄
アイエスジー株式会社	千葉・茨城

ホームエネルギー会社は、自社顧客に限らず**他社LPガスの配送業務も受託**しており、**一般貨物自動車運送事業の許可（緑ナンバー）**を取得・運用しています。

ホームエネルギー会社



一般的なLPガス事業者



供給世帯数

約**330万**世帯

数百～数万件

配送員数

約**1,000**名
全て正社員

持ち込み・請負が大半

商品／荷物の特性

社会インフラ（エネルギー）
可燃・高圧ガス社会インフラ（エネルギー）
可燃・高圧ガス

雇用形態

全て正社員雇用

持ち込み・請負が大半

一般貨物自動車
運送事業許可
（緑ナンバー）**有**
他社LPガス配送を受託**無**
自社顧客のみ配送

シリンダー配送の様子



**1本1本
ご家庭にお届け**



狭い通路では約**40kg**
の容器を担いで配送

紹介動画

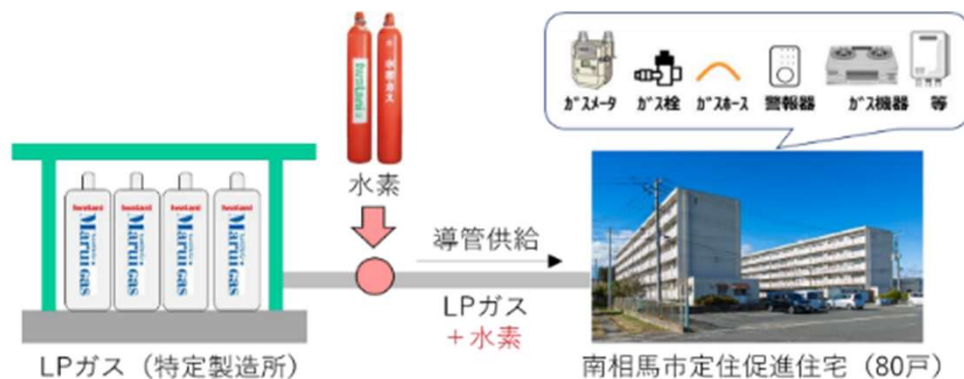


ガス漏れ・設備状況確認の保安点検（有資格）

その他 家庭用水素供給の取り組み

岩谷産業では、今後水素の家庭用供給の実現も視野に入れた将来構想を描いています。

福島県相馬エリアでの家庭用水素ガス機器実証



イワタニが描く未来の水素エネルギー社会



紹介動画



将来的なクリーンエネルギー時代を見据え、
**水素とLPガスの混焼燃料で、
従来のガス機器が安全に使用できることを
実証（NEDO助成事業）**

LPガス配送の現場には、現場の努力だけでは解決が難しい『構造的課題』があり、以下の3点に整理されます。

課題

01

事業形態の特殊性

同業種との連携 の難しさ

- 多くの事業者が販売（小売）と配送を一体で運営しており、外部委託の発想が浸透していない
- 配送専門者が少ないため、（緑ナンバー未取得）法制度上の協業・委託に制限あり

異業種との連携 の制約

- 危険物配送のために資格が不可欠であり、異業種との連携には人材育成や資格面で壁がある。

“ついで配送” の困難性

- 配送車は必ず空容器を持ち帰るため、往路・復路ともに荷台スペースに余裕がなく、帰社時に「ついでに他の荷物を運ぶ」等の効率化が難しい。



課題

02

需要特性（繁閑差と地域分散）

繁閑差の大きさ

- 冬季に需要が集中し、夏季は閑散となる。

地域分散と採算性

- 山間地域や過疎地域といった採算が厳しいエリアでも供給責任を果たす。

法制度上の制約

- 緑ナンバー制度における「営業所ごとに車両5台以上」という基準を満たす必要がある。

課題

03

人員不足・人材育成

- 新人育成の負担：資格取得や危険物・重量物の配送、保安点検、配送計画など教育に時間を要するため、即戦力化が難しい。 「冬を経験して、1人前の配送員」

過疎地域での影響

特に過疎地域では「配送量の減少」と「人材不足」が同時に進んでおり、課題が顕著に表れています。